

改訂化学の新演習 正誤表 2刷用				【注】「電子(を)吸引(性・力)」→「電子(を)求引(性・力)」は、どちらの表記も存在しますが後者がより適切と判断して修正しました。数が多いので正誤表には入れていません。	
本冊	ページ	問題番号など	訂正行	訂正前(誤)	訂正後(正)
本冊	36	63 (3)	---	(文末に追加)	(気体定数 $R = 8.3 \times 10^3 \text{ Pa} \cdot \text{L} / (\text{K} \cdot \text{mol})$) とする。))とする。))とする。)
本冊	71	---	ページ欄外	(ページ左上に追加)	問題130、131で、必要があれば、水のイオン積 $[H^+][OH^-] = 1.0 \times 10^{-14} \text{ (mol/L)}$ を用いよ。
本冊	72	132	11行目	下の(3)	下の(4)
本冊	72	132 (2)	---	モル溶液	モル濃度
本冊	74	---	ページ欄外	(ページ右上に追加)	問題136~139で、必要があれば、水のイオン積 $[H^+][OH^-] = 1.0 \times 10^{-14} \text{ (mol/L)}$ を用いよ。
別冊解答	2	1 解説 (4)④	全文	同族元素のイオン半径は、原子半径と同様に説明できるが、同周期元素では、ふつう1, 2, 13族元素はその周期の1つ前の周期の貴ガスの電子配置をもつ陽イオンになるので、この順にイオン半径は小さくなる。16, 17族元素はその周期の貴ガスの電子配置をもつ陰イオンになるので、この順にイオン半径は大きくなる。つまり、原子番号とイオン半径は一定の傾向を示さない。	同族元素のイオン半径は、原子半径と同様に説明できる。同周期元素では、ふつう1, 2, 13族元素はその周期の1つ前の周期の貴ガスの電子配置をもつ陽イオンになるとイオン半径は小さくなるが、16, 17族元素はその周期の貴ガスの電子配置をもつ陰イオンになるとイオン半径はもとの原子半径よりも大きくなる。したがって、原子番号とイオン半径は一定の傾向を示さない。
別冊解答	28	40 解説 (3)	7行目	[mol]	[/mol]
別冊解答	28	40 参考	23行目	(数式中の数字2か所) 4	8
別冊解答	43	65 解答 (3)	---	5.6g	5.7g
別冊解答	43	65 解説 (2)	4・9行目	52.4	52.38
別冊解答	43	65 解説 (2)	10行目	42.88	42.85
別冊解答	43	65 解説 (3)	5行目	52.4	52.38
別冊解答	43	65 解説 (3)	6行目	5.6	5.72≒5.7
別冊解答	91	132 解説 (2)	7行目	モル溶液	モル濃度
別冊解答	112	163 解説 (2)	5行目	$KMnO_4$	$KMnO_4$
別冊解答	112	163 解説 (2)	7行目	$C_2O_4^{2-}$	NaC_2O_4
別冊解答	113	164 解説 (1)	4行目の反応式右辺	$O_2 + 2H_2O$	$O_2 + H_2O$
別冊解答	140	200 解答 (3) (b)	---	褐色	黒褐色
別冊解答	211	276 解説	10行目	アセトンが生成する。	アセトンが生成する
別冊解答	230	299 解答 (2)	---	アルキド樹脂	グリブタル樹脂 (アルキド樹脂)
別冊解答	231	299 解説 (2)	反応式の説明文	アルキド樹脂	グリブタル樹脂

<>/>で囲まれた部分は以下のような文字です

- 下線 <u>□</u>
- イタリック <i>□</i>
- 太字 □
- 上付き [□]
- 下付き _□